

京奈和自転車道の整備推進

平成30年7月

【担当省庁】国土交通省

○社会資本整備総合交付金（広域連携事業）の平成30年度当初予算について、
配慮いただきましたこと、心より感謝



自転車利用者への「おもてなし」

<サイクリストにやさしい宿>



自転車を安心して屋内に保管でき、自転車搬送サービスの取り次ぎが可能な宿泊施設。

* 県内で55施設を認定

<サイクリングステーション>

自転車利用者が周遊観光の拠点として利用できる施設。



▲駐輪スペース



▲情報発信スペース



▲シャワールーム

* 県内の3施設
平城宮跡歴史公園、まほろば健康パーク、橿原公園



【凡例】

- 京奈和自転車道
- 河川
- 世界遺産等
- サイクリングステーション
(休憩施設やメンテナンススペース等がある施設)

※ 上図は地理院地図 (<http://maps.gsi.go.jp>) をもとに作成

国にお願いすること

京都府、奈良県、和歌山県が連携して取り組む「京奈和自転車道」の整備について、**2020年東京大会までの概成に必要な予算の確保。**

【奈良県における取組】

- 河川管理用通路など既存ストックを活用し、京都府及び和歌山県の自転車道と一体となった安全で快適な総延長約180kmのサイクルートを創出。また、シェアサイクル事業者によるサイクルポートの設置が進むなど、自転車の利用環境が充実。
- 昨今急増するインバウンドも含め、奈良県へ来訪する観光客に、県内に点在する観光拠点の周遊を促すことで、観光振興による地域活性化を図る。
- 平成31年度は、世界遺産「古都奈良の文化財」をはじめ、観光拠点が集中する奈良市内において整備を進め、奈良県域約7割の概成を図る。

2020年概成に向け、安全で快適な自転車走行空間の整備を推進

《シェアサイクルの普及》

奈良市内にサイクルポートが29箇所設置



《自転車走行空間の整備》

昨年、10月に大和郡山市内の約4.4kmが概成

